

## 計画策定の趣旨と位置付け

本県は、平成19年12月に、「文化芸術の振興による心豊かで活力あふれる香川づくり条例」（以下「条例」という。）を制定し、平成20年を文化芸術振興元年と位置付け、以来、5年ごとに、文化芸術の振興の目標や基本的な方針、文化芸術の振興のために重点的に実施する事業などを明らかにした「香川県文化芸術振興計画」（以下「計画」という。）を策定しています。

前計画（平成30年度～令和4年度）の策定以降、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、文化芸術行政を取り巻く諸情勢に大きな変化が生じており、将来を見据えた施策の方向性を見いだすため、条例第20条第1項の規定により、令和5年度から5年間の計画を策定するものです。

## 香川県文化芸術振興計画

[令和5年度～令和9年度]

【概要版】

## 計画期間

令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

## 目標と施策の方向性

### 【目標】 まちに暮らしに<sup>アート</sup>文化芸術があふれ、みんながきらめく香川をつくる

本県には、瀬戸内の気候や風土に恵まれながら暮らしの中に根付いてきた民具や民俗芸能、特色ある現代建築、パブリックアートなどの数多くの貴重な文化資源や、瀬戸内の島々と人、現代アートが織りなす「瀬戸内国際芸術祭」などの多彩な文化芸術が身近にあります。

本県が誇る文化芸術の魅力を一層高めるため、すでにあるものを磨き上げ、新たな創出にも取り組むほか、観光部門等との連携などによる有効活用や、文化芸術活動のコロナ禍からの回復を確実なものとするとともに、さらなる振興に向けて取組みを進めます。

それらにより、地域や暮らしの中に文化芸術があふれ、みんなが笑顔でいきいきと暮らせる香川をつくることを目標とし、県民一人ひとりが文化芸術を楽しみ、「みんながきらめく香川」の実現をめざします。

### 【施策の方向性】

#### ① 「アート県かがわの魅力」を高め、未来につなぐ

すべての県民が将来にわたり文化芸術活動や鑑賞の意欲を持ち続けるとともに、本県が有する多様な文化資源の魅力を高めていけるよう、今ある文化資源の質の向上や新たな文化資源の創出も図りながら、それらを将来へ継承していきます。

#### ② 「アート県かがわの魅力」をいかす

地域やそこに暮らす県民が将来にわたり元気でいられるよう、地域や県民みずからが主体となって、本県の魅力ある文化資源を観光やまちづくりなどの多方面に生かしていくなど、文化芸術を通じて、国内外の人々との交流や地域の活性化を図ります。

## 推進体制

文化芸術の振興にあたっては、県民や文化芸術団体、市町、大学などが、それぞれの役割を果たすことを期待するとともに、県はこれらと連携・協働しながら取組みを進めます。

香川県



# 目標 まちにくらしに文化芸術があふれ、みんながきらめく香川をつくる

施策の方向性

- ①「アート県かがわの魅力」を高め、未来につなぐ
- ②「アート県かがわの魅力」をいかに

※下線:計画期間内において重点的に実施する事業

基本的な方針Ⅰ	基本的な施策	取組項目
文化芸術を担う人づくり	(1) 県民による文化芸術活動の奨励	①県民による文化芸術活動への支援 ⑤文化芸術新人賞の表彰と活動支援
	(2) 子どもや若者が文化芸術に触れ創造性等を育む機会の充実	②県民が文化芸術に触れる機会の充実 ③香川県美術展覧会の開催 ④地域の文化力向上への貢献に対する顕彰
	(3) 県民と文化芸術の橋渡し役やサポーターの充実	①未来の芸術家の育成 ②豊かな心の育成 ③瀬戸内国際芸術祭の開催を通じた創造性の涵養とアーティストの育成 ④学校と県立文化施設の連携による文化芸術教育の推進
		①アートマネジメント人材の確保 ②文化芸術団体等の交流の機会の充実 ③アウトリーチ人材の活用 ④文化芸術サポーターの充実

県民の文化芸術活動の意欲を高め、文化芸術の裾野を広げるため、県民が行う文化芸術活動の支援や、文化芸術の将来を担う子どもや若者に対する文化芸術に関する教育をさらに充実させるとともに、県民が文化芸術を身近に感じ、文化芸術を地域づくりに生かしていくための橋渡し役やサポーターとなる人材の充実に努めます。



かがわ文化芸術祭2022「さぬきノスタルジア」 KJO第21回定期演奏会 かがわ総文祭2025 1000日前イベント 令和4年度 文化芸術新人賞 表彰式

基本的な方針Ⅱ	基本的な施策	取組項目
文化芸術を育む環境づくり	(1) 県民が文化芸術に親しむための基盤の整備	①優れた舞台芸術鑑賞の機会の充実 ②瀬戸内国際芸術祭の作品の継続公開等 ③ICTやデジタル技術等の活用による文化芸術の表現・鑑賞の促進 ④高齢者、障害者、経済的弱者等が容易に文化芸術に触れることができる環境の整備 ⑤関連分野における行政・民間等との連携強化 ⑥置県財団の機動力の強化
	(2) 県立文化施設の機能強化と活用	①県立文化施設の利用促進と機能強化 ②県立ミュージアムの活用 ③東山魁夷せとうち美術館の活用 ④瀬戸内海歴史民俗資料館の活用 ⑤文化会館の活用 ⑥県民ホールの効果的な運営と活用 ⑦デジタル化の推進
	(3) アート県ブランドの戦略的な情報発信	①多様な情報発信媒体を活用した効果的な情報発信 ②かがわアートナビの発信力強化

一人でも多くの県民に本県の文化資源を届けることで、県民一人ひとりがさまざまな文化芸術に触れ、みずから参画し、親しむことができるようにするための基盤と環境を、関連する行政の他分野や市町、民間の文化芸術団体や企業等と連携しながら、整備していきます。あわせて、本県の有する文化芸術の魅力の効果的に発信するための環境づくりにも取り組みます。



香川県立ミュージアム 美術鑑賞学習 東山魁夷せとうち美術館 夕焼けコンサート 瀬戸内海歴史民俗資料館 夜間開館 香川県漆芸研究所 漆芸体験教室

基本的な方針Ⅲ	基本的な施策	取組項目
文化芸術による地域づくり	(1) 瀬戸内国際芸術祭の開催	①国内外から注目を集める瀬戸内国際芸術祭の開催
	(2) 魅力的な祭典等の開催と文化観光の推進	①県立ミュージアムの大規模展覧会等の開催 ②さぬき映画祭の開催 ③高松国際ピアノコンクールの開催支援 ④文化観光の推進
	(3) 文化資源の継承・充実と地域づくりへの積極的な活用	①文化財の保護と積極的な活用・継承 ②文化財を支える人材の育成 ③香川漆芸の技法の継承とブランド化の推進 ④伝統芸能や民俗芸能、祭りなどの継承と活用 ⑤四国遍路の世界遺産登録の実現 ⑥日本遺産認定の支援と認定遺産の活用 ⑦生活文化や地域固有の暮らしの文化の振興 ⑧文化資源の掘り起こしと価値の向上

国際的な知名度を有する「瀬戸内国際芸術祭」をはじめとして、香川の特色ある文化芸術を生かした国内外の人々との交流や地域の活性化につながる取組みなどを、観光、交通、宿泊、旅行などの関連分野と連携しながら進めます。また、文化財をはじめとする本県固有の文化資源の充実と積極的な活用を図ることで、県民がふるさとに誇りを持ち、愛着を感じるような「元気」な地域を創生します。



瀬戸内国際芸術祭2022 綾子踊 本山寺調査報告会 四国遍路体験ウォーク